

福井大学病院だより 第12号

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-12-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10098/9283

最高・最新の医療を安心と信頼の下で

福井大学病院だより

UNIVERSITY OF FUKUI HOSPITAL

第12号

2008.11月
発刊号

病院長あいさつ

福井大学病院の現況

病院駐車場が便利になります
ドトールコーヒESHOP新設について

UNIVERSITY OF FUKUI HOSPITAL

TOPICS

優れた画像診断 **PET-CT 腫瘍ドック**
脳疾患が気になる方へ **3T-MR 脳ドック**

診療科・部門・施設のご案内

特殊診療施設案内

[未熟児診療部]

新人看護師たちは、今…

[看護部]

最新の眼科医療を、安全に行なうことを目指して

[眼科]

病院用語Q&A

☐出来事 ☐イベント情報



福井大学医学部附属病院

☎0776-61-3111(代表)

様々な情報が満載です。ホームページもご覧ください。

<http://www1.fukui-med.ac.jp/home/ufh/>



[今月号の職員]

第一内科学

中野 顕 なかの あきら

福井大学病院の現況

福井大学医学部附属病院長

山口 明夫 やまぐち あきお

秋も深まり、木々も色付きはじめましたが、いかがお過ごしでしょうか。福井大学病院も常日頃より、皆様のご期待にお応えしようと職員一同努力を重ねておりますが、最近の本院の主な動きについてご報告いたします。

診療では新入院患者さんが順調に増えておりまして、これも関連病院の先生方のお蔭であり、お礼を申しあげますとともに、地域連携部の更なる充実に努めてまいりますので、今後ともご協力よろしくお願い申し上げます。

げます。以前問題となっていました麻酔医不足の問題もまだ十分とは言えないまでもほぼ解決して、手術の制限もなくなり、安心して手術を受けていただくようになりました。さらに昨年、月、水、金の週3回でスタートしました血液浄化療法部の診療も、今年度からは火、木曜日、10月1日からはさらに土曜日の午前にも透析治療を開始しました。従来からのご要望によりやく応えることができ、少しでも近隣の透析患者さんのお役に立てればと思っております。一方大学病院もある時期微量採血器具のキャップを使い回して使用していたことが判明し、6月25日に謝罪会見を行いました。十分注意していたつもりではありましたが、関係の皆様にご多大なご心配と不安をおかけしましたことを、あらためてお詫びを申し上げます。それ以後相談窓口を設置して、使用された可能性のある方々の検査を行っていますが、これが原因となる感染者は今のところでていません。しかし今後このようなことがないように注意し、安心と信頼の下で良質な医療を提供できるように努力していきたいと考えております。



また大学病院の顔がさらに見やすいようにと「診療のご案内」を一新して、近々発刊いたします。患者さんにも情報を知っていただくために、各診療科の得意とする分野、症状・対象疾患なども記載いたしましたのでご参考にしていただければ幸いです。

アメニティの面では、病院1階にあります食堂の改装がようやく終わり、10月6日より新しくコーヒーショップが開店しました。朝8時から夜8時までの営業でドトールコーヒーが入りましたが、患者さん、ご家族、職員からは大変好評で、開店早々多くのお客さんで賑わっているようです。土、日曜日も営業し、病院外から入ることもできますので、一般の方も是非一度ご利用していただければと思っています。また本院への交通機関のアンケートで、約9割の方が自家用車でこられ、外来の近くに駐車場を整備してほしいという要望がかねてから強くありました。そこで外来前に約100台が収容可能な駐車場を新たに増設することになりました。12月末には完成する予定ですが、その間工事に際しまして、何かとご迷惑をおかけすることがある

うかと思いますがご容赦下さい。

さて先日21年度初期研修医のマッチング状況が発表になりました。全国的にはやはり地方の大学病院での研修医充足率が低く、福井大学病院でも52名の定員中28名と昨年に比べまして、9人減と厳しい結果になりました。その結果福井県内で研修をされる医師も減りまして、全体では49人となりました。特徴ある研修をアピールして、ここ2年間は30数名とかなり回復していましたが、今年の現状を私どもも深刻に受け止めてさらなる対策をとっていかねばならないと考えております。その一つとして臨床教育研修センターの開設があります。研修医のアメニティの改善のみならず、多くのシミュレーターを設置したスキルラボや約100人が収容できるメインホール、いくつかのセミナー室を備えて、大学職員、地域の医師・コメディカルの方々のスキルアップを支援していきます。またこのセンターを利用して一般の方にも最新の医療情報を提供してまいりたいと考えております。この研修センターの建設にあたりましては、各方面の多くの方々より募金をいただきましたことを、この場



をお借りして厚くお礼申し上げます。初期研修に関しましては、地域間、診療科間格差の改善に向けて、期間の短縮や都会に集まる状況を地方へと戻すための対策などの意見もあるようですが、すぐに制度が変わると思われず、私どもの病院としては、種々の問題を解決して、今まで以上に質の高い研修体制、内容を提供することにより研修医の獲得増を図りたいと考えています。このところ医療崩壊がさかんに叫ばれていますが、初期研修が終わった後の専門医もできるだけ多く受け入れて、マンパワーを確保するとともに中核病院としての更なる機能向上を果たして、地域医療に還元していきたいと考えております。

病院駐車場が 便利になります



来院される方のための駐車場は、主に第1駐車場と第2駐車場があります。
それぞれの駐車場から正面玄関まで100m以上の距離があり、混雑しているため、患者さんや見舞いに来られた方には特に雨や雪の降る天候の時にはご不便をおかけしております。

また、平成20年1月から2月に実施したアンケート調査結果では本院に来られる方の約90%が自家用車を利用されているとの回答でした。

そこで、自家用車で来院される多くの方の利便性及び医療サービス環境の向上を図るため下記の駐車場増設をおこないますのでお知らせします。

なお、皆様には工事中ご不便をおかけしますが、ご協力お願い申し上げます。

- | | |
|------------------|--------------------------------------|
| 【工 事 概 要】 | 駐車場89台分の増設
(病院玄関前駐車場69台+第1駐車場20台) |
| 【使用開始予定】 | 平成20年12月下旬 |
| 【工 事 期 間】 | 平成20年11月上旬から12月下旬 |

ドトールコーヒーショップ 新設について

このたびのドトールコーヒーとレストランの一体化については、近隣の病院には見られない木々が立ち並ぶ木陰の広場、噴水がある憩いの広場までの散歩道や附属図書館に立ち寄れる経路も含め計画されました。

車椅子の患者さんもレストランから外への出入りが可能であり、また財団職員が出入り口の安全確認も出来るので、セキュリティ面もカバー出来るという利点もあります。

ドトールコーヒー部分をオープンにすることで、従来の喫茶室・食堂とは違ったスタイルで、患者さんまたはご家族の方、病院職員の方を始めとする皆様にご利用いただけるくつろぎの空間(リフレッシュスペース)として、今回のオープンに至ることとなりました。

ドトールコーヒーをご紹介しますと、オリジナルの『ブレンドコーヒー』は、200円というお求め安い価格でありながらコーヒー専門店の美味しさをお届けしています。また『カフェラテ・カプチーノ』などのバリエーションコーヒーから、紅茶・フレッシュジュースなど、幅広い層のお客様にご利用いただける商品をご用意しております。

さらにフードについては、『ジャーマンドック』を始めケーキやデニッシュなど、それぞれの時間にご利用されるお客様に満足いただける商品をご用意いたしました。

レストランにつきましては、フランスで技を培った料理長おすすめの新たなメニューを加え、数々取り揃えており

ます。今回のリニューアルに向けて、現在売店にて平日50個限定で販売しているヘルシー弁当(生活習慣病予防のためバランスの取れた日替わり弁当)が好評につき、ご利用いただいているお客様からのご要望で、レストランでも『ヘルシー御膳』として、1日20膳をご提供させていただくことになりました。

ヘルシー弁当については、当院栄養部管理栄養士さんとの連携により3年前から、当会食堂で調理させていただいております。今回も管理栄養士さんの監修のもと、対応させていただくことになりました。

財団法人福和会は、福井県下の保健及び医療水準の向上に寄与し、福井大学医学部附属病院の教育学的研究の支援、同附属病院の患者さんへの援助その他必要な事業を行うことを目的として、附属病院が開院された昭和58年に県認可の公益法人として発足し、今日まで福井医科大学・福井大学医学部の歴史に歩調を合わせて活動してまいりました。

今後におきましても入院・外来患者さん及び教職員の方々への便宜を図るため、売店等のサービス業務もさらに充実させて運営してまいりますので、是非ご利用いただけますよう宜しくお願い申し上げます。

●営業時間 平日 8:00~20:00
土・日・祝日 8:00~19:30



レストラン北側出入口からつづく散歩道



レストラン北側出入口



ドトール・レストラン

TOPICS

優れた画像診断

PET-CT 腫瘍ドック

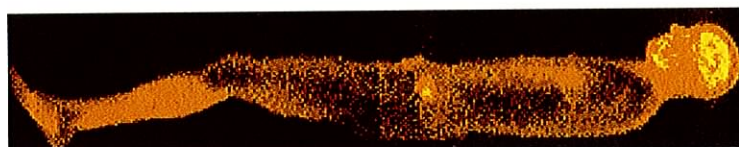
PET 検査とは Positron Emission Tomography (陽電子放出断層撮影) の略です。わずかに数ミリのがんを発見できる場合もあり、殆ど副作用もなく健診者の体に負担のかからない安全な検査です。従来の CT や MRI などの形をみる検査とは異なり、細胞の活動状態を画像でみることができ、がん・脳・心臓などの病気の診断に有用です。



Q PET-CT 腫瘍ドックの目的は？

全身のがん細胞の増殖を早期にとらえることが目的です。

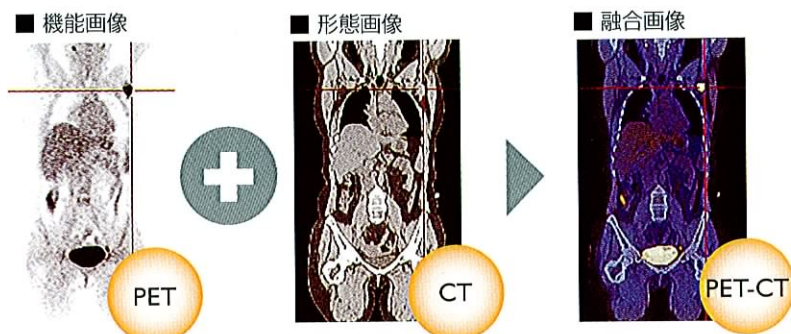
データによると、がんの発見率は他の画像検査の8倍以上といわれています。腫瘍マーカーや超音波等の全体的な検査データを参考にして、専門医による治療又は予防のための適切なアドバイスをしします。



Q PET-CT の特徴は？

一度の撮影で、ほぼ全身をみることができます。

また、機能画像 (PET) と形態画像 (CT) が一度に撮影できます。薬剤を注射して約1時間安静にした後、カメラの下で30分ほど横になっていただくだけで、健診者の負担軽減につながります。(全身をみる検査ですので、原発巣の検出、転移や再発の診断に有用です)



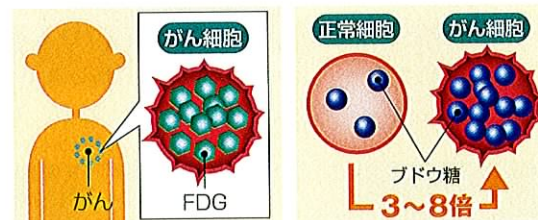
Q PET 検査のしくみは？

がん細胞の性質に着目して、がんを発見する診断法です。

からだを構成している細胞は、生きていくためのエネルギー源として「ブドウ糖」を必要としています。がんなどの悪性腫瘍は正常な細胞よりも増殖が盛んに行われるため、3~8倍のブドウ糖を必要とします。

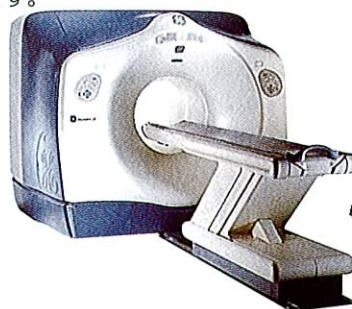
ブドウ糖に微量の放射線を放出するフッ素-18 (18F) という「放射性同位元素」を標識した薬剤 (以下、FDG) を投与し、全身分布を撮影します。

がん細胞には FDG が正常細胞より、たくさん集まるため、PET 検査により (がんの位置や大きさだけでなく) がんの活動の状態を診断することが可能です。



Q 検査前の注意点は？

PET-CT 検査では、血糖値が関与します。通常、検査6時間前からの食事制限となっていますので、朝食は抜いて検査にお越しください。(但し、お茶・水など糖分を含まない飲み物は飲んでいただいても構いません。) 検査後は食事していただいて結構です。



PET-CT も万能ではありません

Q PET-CT 検査は、すべてのがんの発見が可能なの？

早期胃がん、肝細胞がん、胃がん、膀胱がんなど、PET-CT でも発見しにくいがんが存在します。又、1センチ未満の小さながんは発見できない場合があります。尚、炎症などがん以外の病気でも異常が発見されることがあり、確定診断のために他の検査が必要となる場合があります。以上のように、PET-CT 検査にも限界があり、万能でないことをご理解ください。

脳疾患が気になる方へ 3T-MR 脳ドック

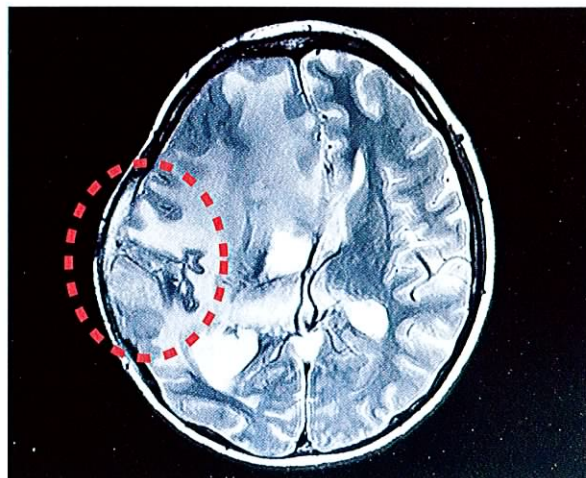
発症前に発見することの難しい脳疾患の兆候を高い確率で捉えることのできる3T-MR 脳ドックのご案内です。

Q 脳ドックの目的は？

自分では分からない無症状な脳の疾患を
早期に発見することが目的です。

脳ドックの目的は、脳血管がつまる脳梗塞や脳内出血、脳動脈瘤が破れるクモ膜下出血のような脳血管の病気や脳腫瘍、脳萎縮傾向などの早期発見や予防にあります。

過剰なストレスによる突然死や過労死の一部は、脳血管疾患が関与していると言われていますが、経験豊富な専門医(脳外科医)がこれらの疾患を早期に発見して治療や予防のための適切なアドバイスをします。



腫瘍ができている脳

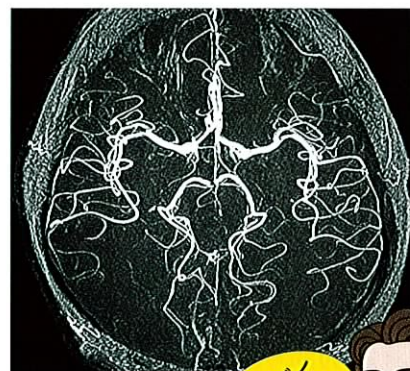
Q 3T-MRの特徴は？

鮮明画像で血管の病気の診断に優れています。

MRは磁場と電波を使って、体内に豊富に存在するプロトン(水素原子核)に共鳴現象をおこさせて体内を画像化して観察する検査です。X線被ばくはありませんし、検査前の食事制限もありません。また、造影剤を使用しなくても同一断面の多彩なコントラスト画像を得ることができます。1.5T-MR装置は地磁気の約30,000倍ですが、3Tはさらに約60,000倍の強さで鮮明な画像診断が可能です。



1.5T-MR(従来)

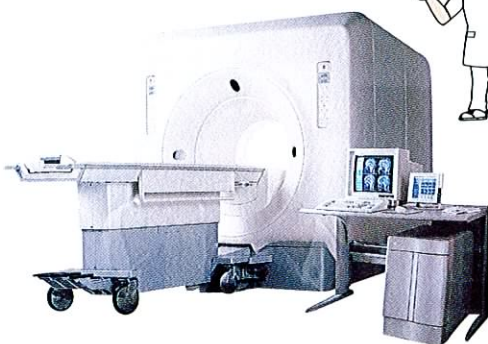


3T-MR

Q 3T-MRの磁力の安全性は？

生体には何ら害はありません。

欧米では既に数年前から4TまでのMRが医療用として認可され稼動しています。動物実験や欧米での経験から、生体には何ら害がないことが報告されています。ただ磁力が強くなるため、金属に対する注意はこれまで以上に必要です。決して鉄など、磁力に吸着するような金属を検査室に持ち込まないなどの注意が必要です。



Q 誰でも検査できるの？

ペースメーカーなどを
入れている場合はできません。

検査ができない方は、心臓ペースメーカー、人工内耳、中耳、脳脊椎刺激電極、体内埋め込み式のインシュリンポンプ、磁力式の人工肛門を装着されている方、入れ墨のある方、妊娠中の方等です。なお、脳動脈クリップや人工関節、インプラント、義眼、アイライナー等についても検査ができない場合がありますので、関連する主治医に確認してください。

次のような方は検査ができない場合があります



- 心臓ペースメーカー ●心血管カテーテル
- 人工耳小骨 ●生体刺激装置
- 弾丸、鉄片 ●脳表面深部に刺激電極装置
- 体内に金属のある方



- 入れ墨
- アイライナー ●マスカラ
- ラメ入りの化粧 ●カラーコンタクトレンズ
- 妊娠中または授乳中の方

※赤字…検査できません
黒文字…検査できない場合があります。

ご確認
下さい!

TOPICS

PET-CT腫瘍ドックの検査スケジュール



3T-MR脳ドックの検査スケジュール



ご予約・お問い合わせは

PET-CT腫瘍ドック

健診日	毎週火・木・金曜日	健診料金	PET単独コース	／ 86,100円(税込)
			PET腫瘍コース	／ 120,750円(税込)
			胃内視鏡付コース(木曜のみ)	／ 136,500円(税込)
			乳房・婦人科検査付コース (金曜のみ)	／ 129,670円(税込)

3T-MR脳ドック

健診日	毎週月・水曜日	健診料金	脳ドックコース	／ 33,600円(税込)
-----	---------	------	---------	---------------

■ PET-CT腫瘍ドックと3T-MR脳ドックコース(33,600円)を同時に申し込まれた場合には3,150円お安くなります。

特殊診療施設案内

【未熟児診療部】 未熟児診療部長 眞弓 光文

目標・使命

未熟児診療部は、①新しい命の誕生を祝福し、患者さんに誠実で最高水準の医療を提供すること、②患者さんのご家族に対して、最大限の心理的・精神的支援を行うことを目標・使命としています。

沿革

未熟児診療部は1983年10月の当大学病院開院と同時に特殊診療施設の1つとしてスタートしました。同年12月には第1号の患者さんが入院されました。その後、当診療部に入院される患者さんの数は着実に増え、現在では年間50人から70人の赤ちゃんが入院されています。

診療内容・実績

当診療部は福井県の新生児・未熟児医療の中心として、特に高度

な医療が要求される小さくお生まれになった赤ちゃんの診療を集中的に行なっています。当診療部の治療成績はきわめて良好で、その医療水準はわが国でもトップクラスにあります。なかでも、超早産児（在胎28週未満で出生した赤ちゃん）、超低出生体重児（1,000g未満で出生した赤ちゃん）などの最重症児のケアに習熟しています。

当診療部は2004年4月に日本周産期・新生児医学会から福井県で唯一の基幹研修施設として認定され、現在に至っています。

診療体制・治療方針

上記の目標・使命を達成するために、医師と看護師が一丸となって、24時間体制で患者さんの診療に従事しています。周産期・新生児医学会認定指導医を含めた新生児医療の専門医師だけでなく、免疫・感染、循環・呼吸、神経・発達、内分泌・代謝など多分野の専門医師が協力し

て診療に当たっています。看護面では、新生児集中ケア認定看護師が中心になり細やかで優しいケアを行っています。

検査は児への負担のできるだけ少ないものを中心に実施しています。そのために、微量の検体で多項目を計測できる血液分析機器、小さな臓器・組織を精細に描出できる高感度超音波機器を備えています。新生児医療で重要な人工呼吸管理では、肺への負担が少ない高頻度振動換気や経鼻持続陽圧を行える高度機器を備えています。

今後の抱負

今後も産科婦人科はもとより、関係するすべての診療科との連携をさらに緊密にし、また、当大学病院に勤務するすべての方々の熱意・協力を得ながら、より高度で安全・安心の新生児・未熟児医療を患者さんご家族に提供します。



小さな患者さんをいつも見守っています



患者さんに優しい医療を実践しています

新人看護師たちは、今…

【看護部】 教育担当専任看護師長 清水 由加里 教育担当副看護部長 早川 美津江

これまでの活動

基礎教育終了直後の新卒看護師は職業人として技術的、精神的にも未熟であり、これまでのように短期間の実務研修で、一人前の看護師としての力量を求めることは難しく、新卒看護師を受け入れる側は、現任教育での相当な努力と工夫が求められている。

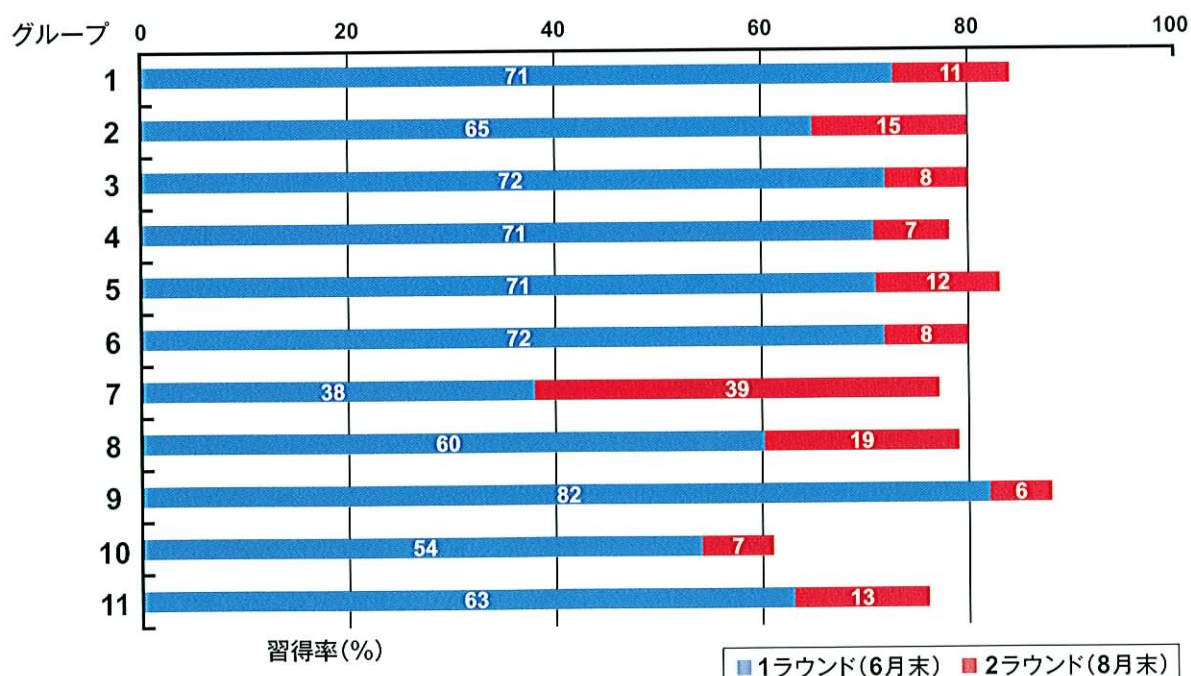
そこで、看護部では、平成20年度より新卒看護師への現任教育のさらなる充実を図るため「看護総合力育成プログラム」をスタートした。従来から行ってきた「看護実践能力の段階別到達目標」を基盤として、新卒看護

師にありがちな精神的未熟さをフォローし、看護師に必要な知識・技術・態度を育成する体制である。各部署に新人教育担当者2名を中心とした看護師育成チームをおき、職員全体で新卒看護師を育成していこうというプログラムである。集合教育で看護技術トレーニングを行い、翌週に病棟で看護技術を実践し、「看護技術支援シート」をチェックすることでOFFJTとOJTの融合を目指した。その結果を看護技術習得状況でみると、ヘパリンロックは新卒看護師の約9割が学生時代に見学のみで経験はないが、就職1ヶ月後には半数が1人でできると答え、この他すべての項目にお

いて平成19年度に比べ習得率が伸びていた。また、2～3ヶ月毎にローテーションをすることで、一病棟のみでは習得できない看護技術の習得が可能になり、表1のように7グループは1ラウンドでは38%足らずの習得率であったが、2ラウンドで39%も習得率が増加した。長年の悩みであった習得率の低迷が解消し8月末時点での平均習得率は78.5%に達した。これは、習得する側、支援する側が共に習得しよう、させようとする姿勢がみられたためと考える。

新卒看護師は7月14日から2ラウンド、10月6日より3ラウンドに入り、現在、3つ目の病棟に勤務している。

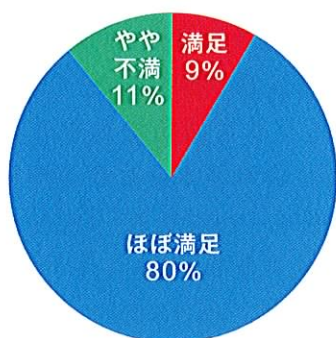
表1 グループ別看護技術習得状況(平成20年8月末)



2ラウンドのローテーション終了時のアンケート調査結果(平成20年9月末)によると・・・

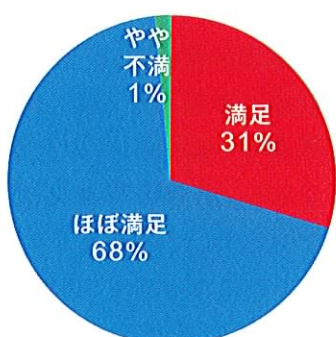
『看護総合力育成プログラムについて』は9%が満足、80%がほぼ満足、11%がやや不満と答えている。やや不満の理由はローテーション毎に新しい環境、人間関係、仕事になれないといけない、3ヶ月は短いなどであった。

【看護総合力育成プログラムについて】



『各看護単位での指導全般について』は、68%がほぼ満足、31%が満足、1%がやや不満と答えている。やや不満の理由は2ラウンドになると教育担当者と勤務が合わず指導を受ける機会が少ないであった。

【各看護単位での指導全般について】



『精神的に苦しかった時期はありますか』の問いには、67%が苦しかった、33%は苦しくなかったと答えている。また、苦しかった時期は、2ラウンドの始め1～2週間がピークであった。苦しかった時の対処行動としては看護師長や新人教育担当者、先輩看護師に相談が27%、同期の看護師やメンバーに相談が21%、家族・友人に相談した10%、この他、耐えた・頑張ったなどと答え、新卒看護師は各々、自己解決し壁を乗り越える努力をしていることが伺えた。

新人の声・・・

●外来・救急部など中央部門に行けるのがすごく良い経験になって沢山学べました。

●辛いことも多いけれど、様々な部署でいろんな患者さんと触れ合うことができるので、とても勉強になります。

●細かいところまで丁寧に教えてくださっているので非常に勉強になります。

●研修は病棟で役立つものが多く、大事な時間だと思います。

今年からローテーションになった事が良いのか悪いのかわかりませんが、辛いことも多いです。後々のことを考えると、浅くても様々な疾患の勉強ができ、経験も積めるので自分の成長に繋がると思っています。がんばります。

●ローテーションで回れるのは

様々な病棟を見られるのでありがたいです。でも、2年目になった時、後輩にしっかり教えられるか不安です。など等

看護師は、専門職として人と接する機会が多く、高い対人関係能力が求められている。新卒看護師はローテーションすることで、多くの人と接し、さまざまな経験を積むことができる。辛くて苦しいことがあるかもしれないが、社会人1年目のフレッシュな感性で体得したことはこれから先の限りない成長の可能性を秘めている看護師人生のなかで、まさにかけがえのない宝になると信じている。また、グループメンバーの支えあいや諸先輩の支援を受けることで精神的側面、社会的側面も大きく成長し、職場適応に繋がると期待している。

新卒看護師を支援する側は、専門職として、ホスピタリティ精神が旺盛で相手に合わせて、待つゆとりをもつことが肝心である。新卒看護師がローテーションするなかで自分が働き続けたいと思う職場を見出し、一人前の社会人となるため、しっかりと目標を持ち努力していけるように、新人教育担当者をはじめ新人看護師育成チーム、職員全体の支援が必要である。「看護総合力育成プログラム」をさらに充実させ、新卒看護師が看護実践家として、質の高い看護を提供できるように育成していきたいと考えています。

最新の眼科医療を、安全に行なうことを目指して

【眼 科】 講師 久保 江理

高齢化が進む中で、見え方の質（Quality of Vision）は重要となっています。加齢とともに白内障や緑内障、加齢黄斑変性症などの目の病気の増加により、視力低下を来し、日常生活にも大きな影響を及ぼしてきます。体が健康でも視力低下により、免許取得が困難になったり、不慮の事故に遭うケースも増えています。自分では気づかないうちに進行していく緑内障や糖尿病から来る眼合併症など、見えなくなってからでは治らない病気も多いので、眼科診察により早期発見・予防が大切です。

眼科診療

われわれ福井大学病院眼科は、最新の眼科医療を安全に、安心して提供できるよう、白内障はもとより、緑内障、網膜・硝子体、角膜疾患から斜視などの小児眼科、救急外傷にいたるまで、あらゆる疾患に対応できる体制を整えています。診断には、最新の検査機器、治療機器を取り揃えており、

特に、網膜の断層像を撮影する機械（OCT）は10月より最新機種に更新し、福井県では当院のみ保有している最新の画像診断機器であります「写真1：最新型のCirrus™ HD-OCT（左）とそれで見える画像（右）」。

これらの機器によって、微細な網膜の構造変化をとらえることが可能になり、糖尿病黄斑浮腫や黄斑円孔、黄斑前膜などといった網膜疾患の

診断のみならず、患者の皆様への病状説明を、画像でお示しながら、十分にできるようになりました。

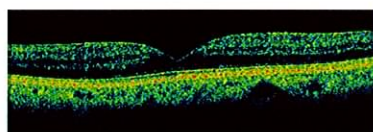
治療機器では、現在、日本人に増加している加齢黄斑変性症の治療に有効な、光増感剤を用いたレーザー治療機器（PDT）があります。このレーザーは、失明に近い状態に進行すること多い加齢黄斑変性症の病気の原因となる脈絡膜新生血管を凝固し、病気の進行を予防する効果があります。それに加えて、10月より、加齢黄斑変性症の進行遅延効果がある、血管内皮増殖因子（VEGF）を減らす（中和する）薬剤（商品名マクゲン®）が厚生労働省の認可を受け発売し、早速当院でも使用可能になりました。高価な薬剤で、眼球内への注射が必要なため、患者の皆様には、十分な説明の上、ご希望の方々に使用させていただきます。加齢黄斑変性症以外の疾患では、糖尿病

実際にOCTで観察できる網膜黄斑像（写真1）

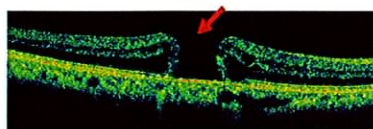


OCT

正常黄斑



黄斑円孔





(写真2) マイクロサージャリー
による術中風景

や網膜血管閉塞といった疾患後の黄斑浮腫、血管増殖などにもVEGFを抑制する薬剤（商品名アバスチン®）の眼球内注射が使用可能です。これは、厚生労働省では未承認の薬剤であり、当院の倫理委員会の承認を受け治療に使用しており、良好な治療成績を得ております。使用する量は微量のため、全身副作用は現在のところみられておりませんが、使用に際しては、十分な説明の上、ご理解がいただける方に使用しています。

眼球内注射は、局所麻酔の後、無痛の数分で終わる簡単な手技ですが、術後の細菌性眼内炎といった失明のおそれのある重篤な合併症を併発する可能性があるため、当院では日帰り手術の形で、手術室で安全かつ清潔に処置をしています。

眼科手術

眼科手術は年間1000件近く行なっており、その全てが眼科用顕微鏡を使用したマイクロサージャリーです（写真2：マイクロサージャリーによる術中風景）。白内障手術はもとより緑内障手術、網膜剥離、糖尿病網膜症、角膜移植といった難治性の疾患の手術も行ないます。最新の極小切開白内障手術や眼内内視鏡併用の23ゲージシステムによる小切開硝子体手術にも対応し、より負担が軽い低侵襲の手術が可能となっています。

救急疾患の手術にも24時間365日対応し、手術室の看護師や病棟看護師スタッフらの、協力と努力により網膜剥離や緑内障などの緊急を要する疾患にも、即日、手術開始できるような体制を整えています。白内障の外来手術も行なっておりますが、当院で手術を申し込んでいただく皆様の中

には、難症例の白内障の方や高齢で高血圧、糖尿病、心疾患といった全身疾患をもつ方が多いため、術中・術後の病状変化にそなえて、入院して手術していただくことをお薦めしています。

眼科外来は一日平均100人以上の患者が来院されます。受診される方々には、待ち時間が長いことでご迷惑をおかけしています。その多くは、福井県全域にわたる眼科病院などから紹介を頂いた複雑な眼疾患をもった方々で、検査・診察に長時間を必要とする患者の皆様です。今後も医師、看護師、視能訓練士および眼科スタッフみなで円滑な診察を受けていただけるよう努力して参ります。

病院の窓口負担金を軽減する方法をご存知ですか？

患者さんによっては医療費の自己負担額が高額となります。そのため家計の負担を軽減できるように、一定の金額(自己負担限度額)を超えた部分が払い戻される高額療養費制度があります。

ただし、保険外併用療養費の差額部分や入院時食事療養費、入院時生活療養費の自己負担額は対象になりません。

自己負担限度額は所得や世帯の状況等に応じて異なりますが、右記の支払い例のように、病院の窓口負担金を少なくすることができます。

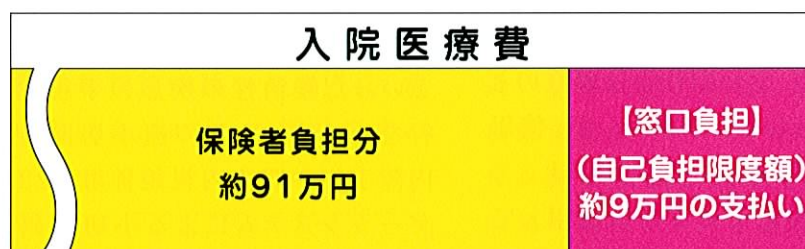
〈例〉胃がんの手術で10日間入院(入院医療費100万円):
所得区分「一般」の場合



※窓口支払後、各保険者に申請することにより、高額療養費として約21万円が戻ってきます。

高額療養費限度額適用認定証制度を使うと！

70歳未満の方であっても事前に申請を行うことで、入院医療費について一医療機関ごとの窓口での支払いを自己負担限度額までにとどめることができるようになります。



この制度を利用するには、加入する健康保険の保険者に事前に「健康保険限度額適用認定申請書」を提出し、「健康保険限度額適用認定証」の交付を受け、医療機関の窓口で認定証と被保険者証を提出してください。

申請窓口

国民健康保険の方	→	市町村役場
政府管掌健康保険の方	→	社会保険事務所
組合・共済健康保険の方	→	各健康保険組合

(詳しくは、各市町村または健康保険組合等の窓口へお問合せください。)

6/7(土)13:00～17:00 (福井県済生会病院)
都道府県がん診療連携拠点病院 東海ホスピス・緩和ケアナース交流会

6/8(日)9:30～ (福井県国際交流会館)
都道府県がん診療連携拠点病院 日本死の臨床研究会中部支部総会

6/12(木)19:00～20:00 (福井大学医学部 基礎臨床研究棟3階 大会議室)
がん診療推進センター講習会

【テーマ】肝がんに関する疫学と内科的治療
 講師:福井大学医学部附属病院 消化器内科 李 相植 先生
 【テーマ】肝がんの外科的治療
 講師:福井大学医学部附属病院 消化器外科 小練 研司 先生

6/20(金)18:00～ (福井赤十字病院 栄養管理棟3階 講堂)
都道府県がん診療連携拠点病院 講演

【テーマ】がん性疼痛管理の基本と最新線
 講師:癌研有明病院 麻酔科(ペインクリニック) 服部 政治 先生

6/20(金)17:30～19:00 (医学部附属病院 臨床大講義室)
平成20年度 第3回医療環境制御センター研修会

【テーマ】医療機器の安全管理 講師:ME機器管理部 笠川 哲也 臨床工学士
 【テーマ】感染症診療への基本的アプローチ
 講師:静岡県立がんセンター感染症科部長 大曲 貴夫 先生

6/25(水)17:30～19:00 (医学部附属病院 臨床大講義室)
平成20年度 第4回医療環境制御センター研修会

【テーマ】救急蘇生最前線 講師:救急部長 寺澤 秀一 先生

7/9(水)

平成20年度 第1回松岡地区消防訓練

火災が発生した場合に教職員・学生が通報、初期消火、非難誘導等の行動が迅速、的確にとれるよう訓練を行うとともに、病院を有し自力の避難が困難な患者を多数かかえる本学医学部(松岡地区)の場合、日頃から防火に対する認識を深め、防火安全対策の徹底を図ることが重要である。
 これらについて教職員・学生の意識高揚と、非常時の臨機対応を目的として消防訓練を行うものである。

- ①基礎訓練 10:00～12:00 消火器の取扱訓練、屋内消火栓の取扱訓練
- ②総合訓練 附属病院病棟の消防訓練
 ・出火想定場所 東病棟7階(整形外科) ・出火想定時間 夜間の20:00を出火想定
- ③講評 15:45～16:15 永平寺町消防本部

7/25(金)9:00～17:45 (高エネルギー医学研究センター セミナー室)
福井大学高エネルギー医学研究センター研究発表会

8/1(金)14:00～16:30 (医学部附属病院 臨床大講義室)
平成20年度 第5回医療環境制御センター研修会

【テーマ】予防接種に関する最新の話題
 一麻疹排除計画進行状況および風疹、おたふくかぜ、水痘の地域での対策を中心に—
 講師:国立病院機構三重病院 院長 庵原 俊昭 先生
 【主催】福井県、社団法人 細菌製剤協会 【後援】感染制御部

8/21(木)18:30～19:30 (福井県立病院 3階 講堂)
第1回 がん講演会 【テーマ】最新の放射線治療でがんに立ち向かう
 ～1時間で放射線治療のスペシャリストになってしまおう～
 講師:福井県立病院 核医学科 主任医長 玉村 裕保 先生

8/28(木)11:00～14:00 (医学部附属病院2階 臨床大講義室前フロア)
「癒しのお茶会」第2弾

来場者:医師、看護師、コ・メディカル、事務、学生等 約300名

8/29(金)17:30～19:00 (医学部附属病院 臨床大講義室)
平成20年度 第5回 医療環境制御センター実技研修会

【テーマ】安全な人工呼吸器の操作と管理について 講師:救急部医師 木村 哲也 氏
 【テーマ】人工呼吸器関連肺炎予防策と口腔ケアについて
 講師:感染管理看護師長 室井 洋子 氏 摂食嚥下障害認定看護師 酒井 則子 氏

8/30(土)9:00～11:00 (永平寺町上志比文化会館サンサンホール)
平成20年「救急の日」消防訓練

特殊災害における情報の収集及び対応、集団災害時における救急・救助活動等
 本院より医師2名、看護師1名が参加

9/2(火)17:00～18:00 (医学部附属病院 臨床大講義室)
学長全学説明会

- ①高等教育政策の方向性について ②大学の経営状況について
- ③中期目標期間評価について ④次期中期目標・中期計画の策定について
- ⑤その他の重要課題

9/4(木)10:30～11:30 (J戸原温泉駅構内(東側軌道敷))
列車事故集団災害総合訓練

西日本旅客鉄道と嶺北金津消防署及び協力機関とが相互に連携、協力体制を確立して初動体制から救出・救護・搬送に至るまでの一連のスムーズな活動と被害拡大の防止、軽減を図ること

【想定】3両編成の普通列車がJR踏切内に進入してきた普通乗用車と衝突し列車内の乗客が多数負傷した。また、普通乗用車も大破し車内からは異臭が発生している。本院より医師2名、看護師2名、事務職員1名参加

9/11(木)・12(金)

ISO9001:2000 第3回継続審査

【審査員】BSIマネジメントシステムジャパン(株) 松山 美奈夫
 技術専門家 秋吉 冬彦

【対象部門】病院長、管理責任者、西病棟3階、西病棟6階、東病棟2階、整形外科(外来)、産科婦人科(外来)、検査部、医療情報部、薬剤部、治験・先進医療センター、環境整備課

【審査結果】不適合事項はなし。観察事項 12件(内 Good Point10件)

9/12(金)17:00～19:00 (医学部附属病院2階 臨床大講義室)

職務評価・被評価者研修会

講師:社団法人日本経営協会 専任講師 佐々木 史光 氏

9/18(木)18:30～19:30 (医学部講義棟 合併講義室)

第6回医療環境制御センター研修会(インターネットでのライブ講演会)

【テーマ】耐性菌感染症における最近の話題 —耐性メカニズムから院内感染対策まで—
 講師:東邦大学医学部 微生物・感染症学講座 舘田 一博 准教授
 【参加者】院内81名

9/25(木)17:30～19:15 (医学部附属病院2階 臨床大講義室)

第6回医療環境制御センター実技研修会 福井大学NST勉強会

【第一部】実技研修「内服薬経管注入のための簡易懸濁法」
 講師:薬剤部 長谷川 充 氏
 講演1「経腸栄養の安全管理」
 講師:福井大学消化器外科・NST 片山 寛次 氏
 講演2「PEG刺入部のケア」
 講師:福井大学看護部 NST 前田 友美 氏

9/30(火)15:00～

カフェ「ドール」オープニングセレモニー

カフェショップのオープニングセレモニーが開催され、テーブルカット、山口病院長のあいさつの後、コーヒーやサンド類を多くの方が味わいました。
 営業時間:平日 8:00～20:00 土・日・祝 8:00～19:30

10/3(金)10:30～11:15

福井大学臨床教育研修センター新営安全祈願祭

医学部附属病院臨床教育研修センター新営工事の安全祈願祭を行った。福田優学長をはじめ同僚関係者や工事関係者が出席し、工事の無事を祈願した。
 同センターは、医学部附属病院閉院25周年記念事業として設立される。初期研修医の研究、教育や研修の場の充実を図り、将来的には福井県で働く医師の確保につなげるとともに、メディカルスタッフの育成等にも利用する。セミナー室やホールに加え、全国の病院が設置しはじめているスキルラボを整備し、医学生、看護学生、研修生、看護師などがシミュレーターを使って実技練習が24時間行えるようになる。

10/7(火)17:30～19:00 (福井大学医学部附属病院2階 臨床大講義室)

看護部主催の講演会

【テーマ】病院職員に対して感情をあらわにする患者さんへの対応
 講師:株式会社 C-plan 代表取締役 NPO法人日本医療コンシェルジュ研究所 副理事 医療経営コンサルタント 佐藤 美智子 先生

10/11(土)17:30～19:00 (文京キャンパス アカデミーホール)

市民公開シンポジウム「放射線医学最前線—医療と環境負荷—」

【講演1】最新放射線診断技術—診断と環境負荷—
 講師:福井大学高エネルギー医学研究センター 准教授 工藤 崇 氏
 【講演2】陽子線がん治療—治療と環境負荷—
 講師:若狭湾エネルギー研究センター 粒子線医療研究室 室長 山本 和高 氏

10/15(水)18:00～ (福井大学医学部 管理棟2階 学長室)

白翁会寄附目録贈呈式

【福井大学医学部同窓会「白翁会」出席者】
 会 長:本多 德行(医学科1期生 本多クリニック院長)
 副 会 長:里見 裕之(医学科11期生 済生会病院 産科婦人科)
 常任監事:法木 左近(医学科1期生 本学医学部 腫瘍病理学 准教授)
 幹 事:小坂 浩隆(医学科13期生 本院精神科 助教)
 幹 事:佐々木 百恵(看護学科1期生 本学基礎看護学講座 助教)
 【本学出席者】
 山口病院長、水野病院部長、吉原経営企画課長、河合経営企画課長補佐

10/22(水)17:30～19:00 (福井大学医学部附属病院2階 臨床大講義室)

ISO講演会 【テーマ】病院機能評価とISOマネジメントの融合

講師:日本大学医学部 社会医学系医療管理学分野 助手 前田 幸宏 氏

10/30(木)18:00～ (福井大学医学部附属病院2階 臨床大講義室)

第8回医療環境制御センター研修会 福井大学 NST勉強会

【表彰式】17:45～18:00 「医療安全推進川柳」優秀賞の表彰
 【第1部】18:00～18:45 「中心静脈カテーテル管理ガイドライン」について
 講師:福井大学消化器外科 NST 片山 寛次 氏
 【第2部】18:45～ 実技研修「CVC刺入部のケアとルート固定方法」
 対象:院内および関連機関の、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学・作業・言語療法士、学生 他

イベント情報

公開
講座

12/18(木) 13:00~17:00

薬剤師の仕事を知ろう Part3

内容 病気の治療や予防、健康の維持などのために、薬は私たちの生活に欠かせないものになっています。いろいろな薬を見て、触れて、学びましょう。硬い錠剤やプラスチックのようなカプセルが本当に溶けるのだろうか?といった素朴な疑問に実演を交えて薬剤師がお答えします。それらを通して、多方面から薬が有効かつ安全に使われるようにサポートしている薬剤師の仕事について理解を深めます。

講師 政田 幹夫(医学部附属病院 教授・薬剤部長)
中村 敏明(医学部附属病院 副薬剤部長) ほか

場所 福井大学医学部附属病院薬剤部及び(社)福井県薬剤師会 水仙薬局

募集人数 20名 **対象** 一般 **受講料** 無料

イベント情報に関する問合せ先

福井大学地域貢献推進センター
(福井大学総務部総務課社会連携係)

TEL : 0776-27-8060
<http://tiiki.ab.fukui-u.ac.jp/facp/>

編集後記

例年にない猛暑であった夏も終わり、紅葉が映える季節になりました。初雪の便りも聞かれる今日この頃です。広報室が広報委員会の下部組織として活動を始めてから早いもので約9ヶ月が経ちました。現在、広報室では、『病院ホームページの刷新』、今年度の『病院のご案内』の監修、『病院だより』『院内だより』の発行などに向けて、メンバー全員で活動しています。

広報室は、少人数で小回りがきく会議室として、医師、コ・メディカル、事務職の各室員が、それぞれの立場で忌憚ない意見を出し合っています。病院も患者さんが選ぶ時代になっています。大学病院とし

ての使命を担いながら、特色を生かし、地域に根ざした診療をどのようにアピールしていくか、又、地域に開けた病院として、どのように情報を発信していくか等々、課題は山積みです。地域の方々に信頼される病院、愛される病院を目指して、今後も柔軟性を持った広報活動を行っていきたいと考えます。

『最高・最新の医療を安心と信頼の下で』の基本理念のもと、病院内外へ、情報を発信していきたいと思います。ご意見・ご希望などがありましたら、お寄せ下さい。

どうかこれからもよろしくお願いいたします。

広報室

 福井大学医学部附属病院
広報委員会

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3
広報に関するご意見、ご要望をお寄せください。
TEL:0776-61-8615
Email:bkoho@ml.ccns.u-fukui.ac.jp

